

NPO法人 龍ヶ崎ゲヴァントハウス 年末特別企画
講演とコンサート
モーツァルト“伝説の録音”を聴く パートII

年末特別企画として、音楽・オーディオ界の第一人者、元フィリップス・レコード・オランダ本社副社長、新 忠篤氏をお招きし、「モーツァルト“伝説の録音”を聴く パートII」と題して、講演とコンサートを行います。

昨年12月、新氏が編集・企画された「モーツァルト“伝説の録音”」の第1回発売を記念した講演とコンサートを行ない、大きな反響を呼びました。ピアニストの内田光子氏、詩人の谷川俊太郎氏、音楽評論家のタリー・ポッター氏等、多くの文化人からも高く評価されています。今回はこの企画の完結を記念した1年振りの第2回目となります。当会自慢のオーディオ装置で聴くモーツァルトのSP盤に残された名演奏を、氏自身が開発した「SPレコード再生用イコライザー」を通したDSDレコーディングによる最高音質でご堪能ください。なお、この企画の概要は、ホームページでご覧になれます。

<http://www.asukashinsha.jp/mozart/>

日 時：2015年12月12日(土) 午後2時～午後4時30分(休憩10分)
場 所：龍ヶ崎ショッピングセンター「リブラ龍ヶ崎」2階旧映画館
講 師：新 忠篤氏(オーディオ研究家、元フィリップスレコード・オランダ本社副社長)
テーマ：モーツァルト“伝説の録音”を聴く パートII

🌀 プログラム 🌀

【トルコ行進曲聴き比べ】

モーツァルト：ピアノ・ソナタ第11番イ長調K.331から「トルコ行進曲」

1. エリー・ナイ(p)(1941年録音)
2. エドウィン・フィツシャー(p)(1933年録音)

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲変ホ長調K.364 第1楽章、第2楽章

アルバート・スポールディング(vn) / ウィリアム・プリムローズ(va)
フリッツ・ステイードリー指揮ニュー・フレンズ・オブ・ミュージック管弦楽団(1941年録音)

モーツァルト：クラリネット五重奏曲イ長調K.581 第1楽章

チャールズ・ドレイパー (cl) / レナー弦楽四重奏団 (1928年録音)

~~~~~ 休憩10分 ~~~~~

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」K.492より“恋とはどんなものかしら”

ネリー・メルバ (sop) (1910年録音)

モーツァルト： Rondino 二長調 (「ハフナー・セレナーデ」K.250より クライスラー編曲)

フリッツ・クライスラー (vn) / フランツ・ルツプ (p) (1938年録音)

モーツァルト：フルートとハープのための協奏曲ハ長調K.299 第1楽章

マルセル・モイーズ (fl) / ハリー・ラスキーヌ (hp)  
ピエロ・コッポラ指揮管弦楽団 (1931年録音)

モーツァルト：セレナーデ第13番ト長調K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」全曲

ブルーノ・ワルター指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 (1936年録音)

モーツァルト：オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための協奏交響曲変ホ長調K.297b 第1楽章

ヴェンツケ (ob) / ビュルクナー (cl) / ツイラー (hrn) / ローテンシュタイナー (bsn)  
近衛秀麿指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 (1937年録音)

モーツァルト：ピアノ協奏曲第27番変ロ長調K.595 第2楽章、第3楽章

アルトゥール・シュナーベル(p) / ジョン・バルビローリ指揮ロンドン交響楽団 (1934年録音)

★ホームページアドレス <http://www.bekkoame.ne.jp/~hippo/gewandhaus/>